

平成23年度 個別施策管理シート

政策	4 環境にやさしい港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長
基本施策	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり		
個別施策	17 良好な港湾空間を維持・創出する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、就業者
	サービスの対象物(何を)	名古屋港の環境
	意図(どうい状態にしたいのか)	良好な状態に維持又は回復させる
内容	環境と共生する港湾の形成に向け、利用や機能が低下している港湾緑地においては、高質化などによる機能向上や緑地の再生・創出を図るとともに、富栄養化が顕著である水域においては、浄化対策を行うなど、自然環境を良好な状態に維持、回復させるようにしていきます。	
目標	名古屋港緑化計画における緑地整備面積282haを目指します。	目標達成に影響する外的要因等

成果指標名	年度実績等		H19	H20	H21	H22	目標H24	指標の説明(式)
	実績	ha	255	253	253	253	282	
名古屋港緑化計画における緑地整備面積	達成率	%	90.4	89.7	89.7	89.7		
	実績	件	60	60	60	60	60	10地点×6項目
水域環境の把握件数	達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

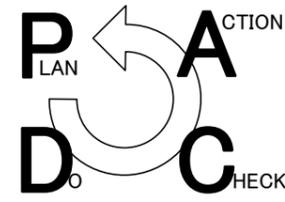
重点化	担当課	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標又は活動指標(単位)	成果・事業費(千円・人件費込)			目標値(年度)	H22年度事業に基づく評価結果(及びH23年度評価時点までの状況変化も反映)				
					H21	H22	H23		H22年度末までの状況※1	H23年度以降の取組の方向性			備考(判断の理由・目標年次の変更等)
					実績 決算額	実績 決算見込額	目標 予算額			事務事業※2	成果※3	コスト※4	
○	(企画調整室)環境担当	緑地配置計画の策定(港湾計画の策定)(4051701)	環境機能の向上、ふ頭特性を見据えた緑地の配置や機能の転換など、緑地の配置を検討します。	策定進捗率(累計)(%)	30	34	54	100(H25)	遅れ	継続	↗	➡	・物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。 ・目標年度を23年度から25年度に変更しました。
○	(企画調整室)環境担当	海浜計画の策定(港湾計画の策定)(4051702)	名古屋港における海浜の現状分析を行い、他の施設計画との整合を取りながら、港内における海浜の配置を検討します。	策定進捗率(累計)(%)	30	34	54	100(H25)	遅れ	継続	↗	➡	・物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。 ・目標年度を23年度から25年度に変更しました。
	(企画調整室)事業担当	中川運河緑地(堀止地区)整備事業【再掲】(4051703)	地域環境の向上を図るため、ささしまライブ24と連携を図りながら中川運河(堀止地区)の緑地整備を行います。規模:1.1ha	事業進捗率(累計)(%)	2.1	6.4	12.9	100(H25)	順調				【本掲】「12快適な港湾空間を形成する」(3041202)において評価
	(企画調整室)環境担当	中川運河(堀止地区等)水環境改善計画の策定(4051704)	中川運河(堀止地区等)の水環境改善のための計画策定と事業化に向けた調整をします。	策定進捗率(累計)(%)	87.5	93.8	100	100(H23)	順調	完了			23年度にて事業完了見込みであるため。
	(企画調整室)計画担当	港湾計画の変更に係る環境影響評価(港湾計画の策定)(4051705)	港湾計画の変更箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、港湾計画を、環境に配慮した計画とするものです。	事業進捗率(累計)(%)	20	20	20	100(H25)	遅れ	継続	↗	➡	・物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。 ・目標年度を継続から23年度に変更しました。
	(企画調整室)事業担当	公有水面の埋立に係る環境影響評価(稲永ふ頭地区)(4051706)	公有水面の埋立箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、公有水面の埋立事業を、環境に配慮した事業とするものです。(第1貯木場南:H20~21、稲永ふ頭H21~23)	作業進捗率(稲永ふ頭)(累計)(%)	0	20	100	100(H23)	順調	完了			・23年度にて事業完了見込みであるため。 ・目標年度を継続から23年度に変更しました。
	(企画調整室)環境担当	港内の水底質のモニタリング(4051707)	水域の水および水底土砂の調査を実施します。	測定計画に基づく調査の履行率(%)	96.2	100	100	100(継続事業)	順調	継続	➡	➡	公共用水域水質調査は、事務改善を行い、コスト削減に努めていくため。
	(企画調整室)環境担当	大江川、7・8号地間運河の監視(4051708)	公害防止事業により敷設されたアスファルトマットの状態を目視、潜水夫及び音響測深機等によって点検を行うとともに、年4回定点にて採水し有害物質等の調査を実施します。	異常箇所の発見状況(回)	0	0	0	0(継続事業)	順調	継続	➡	➡	継続的に取り組む必要があるため。
	(企画調整室)環境担当	港湾環境啓発活動の推進(4051709)	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。(※22年度はCOP10開催年)	パンフレット等の受取人数(人)	750	6,250	800	1,200(継続事業)	順調	継続	➡	➡	環境啓発活動は継続的に取り組む必要があるため。
	(企画調整室)事業担当	金城ふ頭中央緑地整備事業【再掲】(4051710)	地域環境の向上を図るため、金城ふ頭中央緑地の整備を行います。規模:1.0ha	事業進捗率(累計)(%)	8.3	32.5	100	100(H23)	順調				【本掲】「12快適な港湾空間を形成する」(コード3041210)にて評価
	(建設部)金城・南5区開発担当	南5区Ⅲ工区緑地の基本計画の策定(4051711)	南5区Ⅲ工区において緑地の基本計画を策定します。	Ⅲ工区緑地基本計画の策定(件)		1		1(H22)	完了				
				施策コスト(事業費合計)	66,505	142,360	239,473						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

H23年度以降の取組の方向性	平成23年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)		
取組の方向性	成果※3	コスト※4	
	↗	➡	・成果は拡大とします。 ・コストについては、事務事業にコスト縮小のものがありますが、相対的な割合が小さいため全体としては維持とします。



3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

平成22年度行政評価のACTION(取組の方向性)を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
・良好な港湾空間を維持・創出するための施策は、着実に成果を上げています。	
・緑地配置計画及び海浜計画の策定(港湾計画の策定)については、国の港湾行政の指針となる基本方針が策定されるなど作業環境が整ってきたため、順次対応していく必要があります。	
・港湾環境啓発活動については、22年度はCOP10が開催されたためコストが拡大しましたが、水底質のモニタリングも含めてコスト削減が必要です。	
・南5区Ⅲ工区は、基本計画は終了しましたが、事業化への検討及び処分場が廃止されるまでの暫定利用の対応が必要です。	
構成事務事業の適正性(事務事業の構成内容が妥当かどうか。問題がある場合は具体的な修正案を記入)	
・事務事業の構成内容は概ね適正です。	

個別施策17